

2023年3月期 連結決算概要

円谷フィールズホールディングス株式会社

東証プライム市場
証券コード 2767

2023年5月

(単位：億円)

連結P/L	2022年3月期	2023年3月期		
	通期	通期	対前期増減率	業績予想 (2月13日付)
売上高	949.0	1,171.2	+23.4%	1,170
売上総利益	157.8	253.2	+60.5%	
販売管理費	123.3	143.7	+16.5%	
営業利益	34.4	109.5	+217.9%	108.0
経常利益	36.3	112.1	+208.7%	110.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	24.7	82.2	+232.7%	80.0
配当金	20円	30円		
配当性向	26.2%	23.7%		

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

※ 当社は、2023年3月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2022年3月期については、当該株式分割前の配当金の額を記載しています。なお、株式分割を考慮した場合の2022年3月期の配当金は10円となります。2023年3月期については、株式分割後の数値を記載しています。

(単位：億円)

事業セグメント別P/L	2022年3月期	2023年3月期			
	通期	通期	対前期増減率	業績予想 (2月13日付)	
コンテンツ&デジタル 事業セグメント	売上高	91.0	145.3	+59.6%	-
	営業利益	14.6	43.7	+198.8%	41.0
PS事業 セグメント	売上高	837.1	1,008.0	+20.4%	-
	営業利益	17.5	77.1	+340.7%	76.0
その他	売上高	23.3	23.0	△1.3%	
	営業利益	0.9	0.7	△17.7%	
調整額	売上高	△2.5	△5.2	-	
	営業利益	1.3	△12.1	-	

※2022年10月3日付で実施した持株会社体制への移行に伴い、当第3四半期連結会計期間より、従来の単一セグメントから、「コンテンツ&デジタル事業」、「PS事業」の2つの報告セグメントに変更しています。

この変更を受け、過年度の数値を一部変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しています。

※千円未満は切り捨てて表示しています。

(単位：億円)

連結B/S	2022年3月期	2023年3月期	対前期増減額
流動資産	566.9	588.6	+21.7
固定資産	133.0	220.2	+87.2
資産合計	700.0	808.9	+108.9
流動負債	278.6	304.8	+26.2
固定負債	105.8	85.8	△19.9
負債合計	384.4	390.7	+6.2
純資産合計	315.5	418.1	+102.6
負債純資産合計	700.0	808.9	+108.9

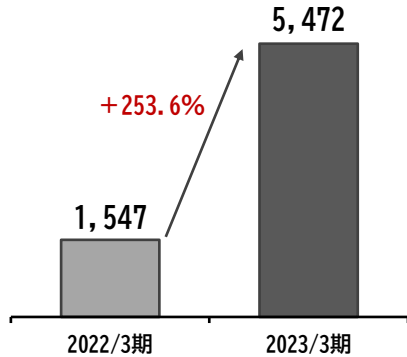
連結C/F	2022年3月期	2023年3月期	対前期増減額
営業キャッシュ・フロー	79.8	125.6	+45.8
投資キャッシュ・フロー	△15.8	△76.4	△60.5
財務キャッシュ・フロー	13.8	△7.2	△21.1
現金及び現金同等物の増減額	77.7	41.9	△35.8
現金及び現金同等物の期首残高	245.1	323.0	+77.9
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0.1	—	△0.1
現金及び現金同等物の期末残高	323.0	364.9	+41.9

※ 会計方針の変更：「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を前連結会計年度の期首から適用しています。

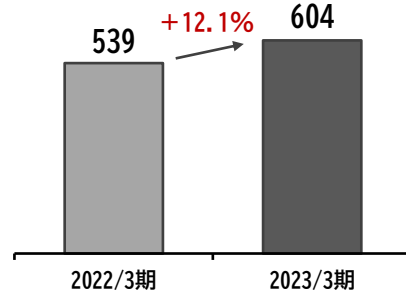
※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

(単位：百万円)

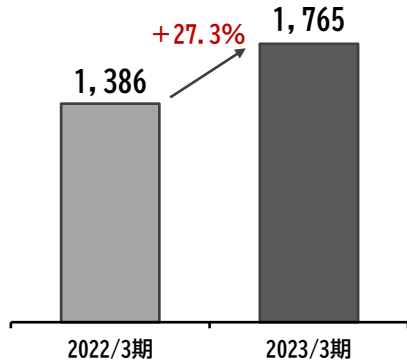
[中国MDライセンス収入]



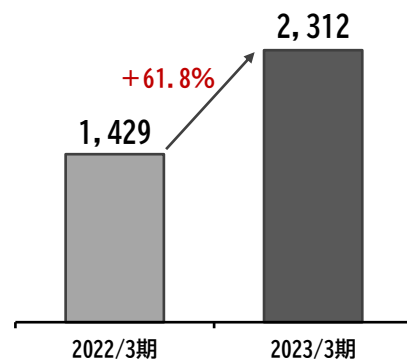
[その他海外MDライセンス収入]



[国内MDライセンス収入]



[映像事業収入]



・円谷プロダクション

[中国]

ウルトラマン人気を背景に関連商品の販売が急伸び、中国からのライセンス収入が大きく伸長

[国内]

映画『シン・ウルトラマン』（2022年5月公開）が通期を通じて新たなファン層の獲得に貢献

・デジタル・フロンティア

2023/3期

売上高：40.9億円（前期比+8.6%）

営業利益：4.0億円（前期比+109.4%）

※千万円未満は切り捨てて表示しています。
※MD：マーチャンダイジング

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期	
	通期	通期	対前期増減率

PS事業セグメント

売上高	837.1	1,008.0	+20.4%
営業利益	17.5	77.1	+340.7%

パチンコ	13.9万台 (6機種)	15.1万台 (7機種)	+1.2万台 (+1機種)
パチスロ	5.1万台 (13機種)	6.8万台 (6機種)	+1.7万台 (△7機種)
合計	19.1万台 (19機種)	21.9万台 (13機種)	+2.8万台 (△6機種)

パチンコ7機種、パチスロ6機種

合計21.9万台を販売

- 『Pゴジラ対エヴァンゲリオン～G細胞覚醒～』が年度を通じて業界最大の販売台数
- 『パチスロ犬夜叉』を始めとしたプライベートブランド機が好調で業績に寄与

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

【2023年3月期 パチンコ・パチスロ販売タイトル】

	上半期		下半期		通期
	1Q	2Q	3Q	4Q	
パチンコ		1 P宇宙戦艦ヤマト-2202-ONLY ONE- 2 ぱちんこ GANTZ:3 LASTBATTLE 3 P犬夜叉2 4 ぱちんこウルトラマンティガ 1500×84	5 Pゴジラ対エヴァンゲリオン～G細胞覚醒～ (再販)新世紀エヴァンゲリオン～未来への咆哮～	6 P真速のガッチャマン 7 sin 七つの大罪 X-TREME	7機種
	0.2万台	四半期 5.4万台 累計 5.6万台	四半期 6.5万台 累計 12.2万台	四半期 2.9万台 累計 15.1万台	
パチスロ	1 パチスロ 月華 雅 2 パチスロ 犬夜叉	3 パチスロBOOWY	4 パチスロ 真俺の空	5 パチスロ モンスターハンターワールド: アイスボーン™ 6 パチスロ機動戦士ガンダムユニコーン	6機種
	0.8万台	四半期 1.8万台 累計 2.7万台	四半期 1.2万台 累計 4.0万台	四半期 2.7万台 累計 6.8万台	
合計	1.1万台	四半期 7.2万台 累計 8.4万台	四半期 7.8万台 累計 16.3万台	四半期 5.6万台 累計 21.9万台	13機種

(単位：億円)

連結業績		2023年3月期	2024年3月期予想	
		通期	通期予想	対前期 増減率
連結	売上高	1,171.2	1,230	+5.0%
	営業利益	109.5	120	+9.6%
	経常利益	112.1	122	+8.7%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	82.2	85	+3.4%

主なセグメント別		2023年3月期	2024年3月期予想	
		通期	通期予想	対前期 増減率
コンテンツ&デジタル事業	売上高	145.3	180	+23.9%
	営業利益	43.7	60	+37.0%
PS事業	売上高	1,008.0	1,040	+3.2%
	営業利益	77.1	80	+3.7%

※2022年10月3日付で実施した持株会社体制への移行に伴い、当第3四半期連結会計期間より、従来の単一セグメントから、「コンテンツ&デジタル事業」、「PS事業」の2つの報告セグメントに変更しています。

この変更を受け、過年度の数値を一部変更しております。

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS

免責事項

本資料に掲載されている当社の計画、戦略、予想等は、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場における競争状況、取扱商品等が考えられますが、これらに限るものではありません。